

9月26日(水) 本年度第12回(通算2651回) 12時30分～ 釧路プリンスホテル

『新入会員卓話』

担当/プログラム委員会

☆出席報告【会員総数62名 免除7名 出席計算に用いた会員数62名】

本日の出席者 34名 55%

☆ニコニコ献金

- ・高橋 貢君 ～ 本間君、入会おめでとうございます。
- ・小林 裕幸君 ～ 同上
- ・迫田 武君 ～ 本日誕生日です、ケーキありがとうございます。
本間新入会員、新入会員卓話よろしくお祈いします。
- ・坂入 信行君 ～ 待ってました！！本間君！
- ・岡田 拓君 ～ 本間さん入会おめでとうございます。
- ・中島谷友一朗君～ 本間君入会おめでとうございます。
- ・中嶋 嘉昭君 ～ 誕生日です。ケーキ待ってます。

会長挨拶

《高橋会長》



本日は、まずもって、新入会員である本間弘人会員の入会おめでとうございます。大変うれしく思っております。昭和45年生まれの42歳でありますし、これからの北クラブをリードする会員になってください。

今月は新世代のための月間ですが、先日、23日の日曜日に河川敷のラグビー場に行きました。私の母校であります医療大学のラグビー部が試合をしていました。歯学、薬学、看護学生など、総勢40人弱であります。対戦チームは釧路教育大と公立大釧路の混合チーム、35対17で医療大チームが勝ちました。勝ち負けより思い切り汗を流すことに意義を感じます。

そこになんと、我がクラブきっての宴会部長である天坂会員が日焼けかアルコール焼けかわからない黒い顔をして、仕切っておりました。その勇姿は日ごろの天坂会員からは想像もつかない、眩しいものでありました。18歳～先輩から後輩になった何歳かわからない学生もおりましたが、汗を流しボールに向かって走る姿は爽快でありました。

若年層に目を向けてみると乳幼児の虐待、いじめ、引きこもり、非行など、色々な問題があります。これらの問題は簡単に解決できるものではありません。しかしながら、スポーツやスポーツ振興を一つの手段として、真剣に、また、社会全体が取り組んで行かなければならないものと感じた1日でありました。

☆幹事報告☆

《小林幹事》



- ①10月5日～7日まで北見の地で開催されます地区大会での6日の基調講演は、RI研修リーダー桑原茂氏 テーマ「元気なクラブになるため(会員増強・維持)」、7日記念特別講演は金 美齢さんテーマ「不条理な世の中でどう主体的に生きるか 人間として生きる」です。
- ②昨年、能登会長年度にRIの方に申請いたしました、IDスポーツ大会が「RI意義ある業績賞」を受賞いたしました、北見の地区大会2日目土曜日14時30分頃からの表彰式にて表彰されます。
- ③米山豆辞典・ロータリーの友10月号をパーソナルボックスに入れておりますのでご確認下さい。

☆新入会員紹介☆



中島谷会員増強・維持委員長より紹介

ほんま ひろと
本間 弘人 君

丸什本間建設(株) 常務取締役



高橋会長よりロータリーバッヂを…

☆新入会員卓話☆



本間 弘人会員

ご紹介頂きました本間弘人でございます。
縁がございまして、この度釧路北ロータリークラブへ入会することとなりました。皆様どうぞ宜しくお願い致します。

仕事は、父が営む丸什本間建設株式会社の常務を務めております。昭和45年8月15日、駅裏方面の松浦町に生まれ、当時祖父祖母の他に2世帯の伯父叔母家族、住込みの職人が10人程住む大家族の中で幼少期を過ごしました。当時父母が仕事で忙しいため当時孫の躰を全て祖母が行っておりました。それはとても厳しく、行儀が悪いと叱られる時はコメカミをグリグリとされ、子供心にとっても痛かったため早く死なないものかなあと思っていたことが心に残っております。

5歳の時、都市計画が整備されるにあたり、現在の事務所がある釧路町桂木に移りました。当時はセチリ太という地名で一带を木工団地と呼ばれておりました。小学校3年までスクールバスで共栄小学校に通い、小学校4年から富原小学校へ転校しました。そのまま富原中学校へ入学し、一級建築士になりたいという志を持ち、釧路工業高等専門学校へ入学しました。高専では大学のような感じで要領良く単位をとるそんな生活をしていたのですが、そのうち恋愛に理解が出来ない母と衝突するようになり、尾崎豊の『卒業』の歌のように、早く自由になりたいそう思うようになり、全てを投げ出し上京しました。3年間東京で過ごしたのですが、東京では人生において今の自分を形成する上でとても重要な人に出会いました。自分が思うようにいかなければ全て乱暴に過ごしてきた自分に子供のようには僕に人のあるべき姿を教えてくれ、今思えばこの人に出会わなければ人としての道を外していたかもしれません。ギャンブル、恋愛、酒など遊びという遊びを20歳で散々やった挙句、釧路に帰ってくることとなります。

父が大病にかかったと姉から連絡があり、そのまま釧路に帰らずに父が死んだとしても後悔しないのかいという言葉に心動かされたからであります。おそらく親方と父母は裏で通じていたのかもしれませんが。親方からも説得され帰ってくる決心をし平成3年6月に帰ってきました。帰ってきたら父は思ったより元気で、2週間前は入院していたと言っていたのですが、多分息子を戻すために謀られたのだと今は思っております。同じように帰ってきた兄と共に家業を務めることになるのですが、後継ぎとして張り物を触るように育てられた兄と、いずれいなくなるかもしれない弟では仕事の内容も違い、下積みから仕事を教わった私と兄に徐々に仕事の能力の差が出てきて、兄との衝突がエスカレートし兄は会社を辞めました。

当時、父はお前は次男だからどこか良い働き先があれば好きに生きれば良いと言っていたのですが、兄が居なくなった瞬間、欲しい車は無いかと新車を与えてくれ、現金な人だなあと思いましたが、新車で高級車を買ってもらった僕もあまり変わらないかもしれないと思いながら現在に至っております。

25歳くらいまで仕事に明け暮れてましたが、その頃中小企業家同友会という会に入会し、もう一人の自分にとって大きな出会いがありました。その人は、僕より5歳年上の谷さんという人ですが経営の事を何も知らない僕に経営について大事な多くの事を教えてくれました。当時会社の危機の時に会社をどのようにしていくべきかなど、僕よりも早くに様々な経験をしていた谷さんの助言に助けられ今会社が残っているのだと今でも思っております。

経営に携わるようになって30歳を過ぎ先ほど中島谷さんが言っていたように青年会議所に入会し、青年会議所では7年間という歳月の中で多くの友という財産を得ることが出来ました。

子供のころ、家が貧しく金持ちになりたいとずっと思っていました。でも今は価値観が変わり、お金が全てではないのだと思うようになりました。人の幸せとはどれだけ多くの人と出会いその人たちと多くの喜びを感じることが出来るかじゃないかと思っております。見方を増やすのは大変なことです。であるならば、嫌いな人を減らしていった方が人生楽しいのではないかといつも考えております。

青年会議所とは違い、年齢制限のないロータリーにはきっと多くの出会いが待っているのだと楽しみにしております。どうか若輩者ではございますが、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。今後とも宜しくお願い申し上げます。